

# 暴風雪災害への備えは できていますか？

## ◆ 暴風雪による被害に遭わないために

暴風雪による被害は、晴天から悪天へと天気が急変したときに多く発生しています。テレビやラジオなどで悪天が予想されることを知ったときは、今の天気がよくても油断することなく、最新の気象情報や道路情報などを事前に十分確認しましょう。また、暴風雪が予想されているときは無理をせずに外出は避けましょう。



気象台から「数年に一度の猛吹雪」「外出は控えてください」のキーワードを使った情報が発表されたら、厳重に警戒してください！

## ◆ もしも暴風雪に遭遇してしまったら

### 歩行中や屋外での作業中のとき

- ・ 商店やコンビニ、人家など建物の中の安全な場所に移動して天気の回復を待つ
- ・ 歩行中は風で飛ばされてくる物に注意する
- ・ 肌の露出を少なくし、重ね着をするなど体温が低下しないようにする

### 家の中にいるとき

- ・ FF 式暖房機などの給排気口が塞がれていないか確認する
- ・ 出入口を確保するため、吹き溜まりの状況を見て除雪する

### 車を運転しているとき

#### ▶ 運転中に暴風雪となり視界が悪くなったときは

- ・ 道の駅やコンビニなどで天気の回復を待つ
- ・ 気象情報や道路情報を確認する

#### ▶ 途中で立往生をしてしまったときは

- ・ ハザードランプを点滅、停止表示板を置く
- ・ JAF などのロードサービスや近くの商店、人家などに救助を求める
- ・ 避難できる場所や救助を求められる人家が近くに無いときは、警察や消防に連絡して救助を求める

#### ▶ 車内で救助を待つときは

- ・ マフラーが雪に埋まると排気ガスが車内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあるので、車が雪に埋まった場合は原則エンジンを停止させる
- ・ 防寒などでやむをえずエンジンをかけるときは、こまめにマフラー周りを除雪する

※ 窓を開けていても絶対には安全とは言えず、風向きや窓の開度などの条件によっては、窓を開けているときより一酸化炭素中毒の危険性が高くなる場合があります



## ◆ 冬場の停電に備える

- ・ 最低3日分、できれば1週間分の飲料水、食料の備蓄をする
- ・ 懐中電灯など、電池で使える明かりを用意する
- ・ 停電時に情報の入手ができるようラジオの用意をする
- ・ 携帯電話やスマートフォンに充電ができるよう、電池式の充電器や充電用バッテリーを用意する
- ・ ポータブルストーブやカセットガス式のストーブなど、電気を使用しない暖房器具やカセットコンロ、防寒着や毛布などを用意する

